

Clinical Characteristics and Long-Term Outcomes of Rotational Atherectomy — J2T Multicenter Registry —

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2018-05-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 岡井, 巖 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002360

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 乙第 2423 号

Clinical Characteristics and Long-Term Outcomes of Rotational Atherectomy — J2T Multicenter Registry —

(ロータブレード施行後患者における臨床背景と長期予後の検討)

岡井 巖 (おかい いわお)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、予後不良とされている冠動脈石灰化病変を有する患者に対してロータブレードを使用して治療した患者の、臨床背景と長期予後を検討した。3 大学でデータベースを構築し、総勢で 1090 人の日本において最大級の人数を対象とした。長期予後としては MACE (総死亡、ACS、TVR、stent 血栓症、脳卒中) をプライマリーエンドポイントとした。MACE の発症率は 5 年で 46.7% と高率であり、臨床背景としては高齢で糖尿病や高血圧症、脂質異常症や CKD の患者が多く含まれている事が明らかになった。また、多変量解析にて予後予測因子を検討したところ、年齢、CKD、透析、ACS、low EF が有意な予後不良因子であり、スタチン投与と DES 留置が有意な予後良好因子である事がわかった。特に年齢と透析が強力な予後因子であった。

本論文は日本におけるロータブレード施行後患者における臨床背景と長期予後を明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。